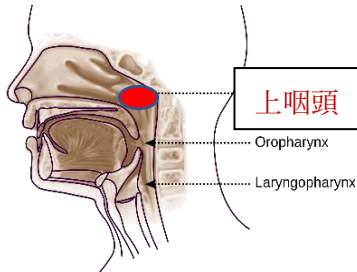


～Bスポット療法（鼻咽腔治療）とは～



◎上咽頭（鼻の奥にある、のどの一番上の部分）

に塩化亜鉛を塗布する治療です。

赤ちゃんから高齢の患者様まで治療可能です。

※上咽頭は自律神経と免疫機能のツボともいわれています。

この治療は、東京医科歯科大学の故：堀口申作教授が1970年頃に提唱された治療法です。（当院の渡辺医師は、故：堀口申作教授の直弟子です。）

この処置により、頭痛・咳・後鼻漏・慢性疲労・肩こり・自律神経系の症状など様々な症状がおさまる患者様が多数いるため、この治療を行っています。

症状改善効果がある患者様には、週1回～2週に1回のペースで通院していただくことになります。

※特に咳と頭痛には著効です。



治療上の注意点

- 1、上咽頭の炎症が強い方ほど、薬がしみて、ひりひりした痛みがでます。2時間ほど、痛みが続くことがあります。
- 2、薬を塗った後、唾液に血が混じることが翌日くらいまで続くことがあります。上咽頭の炎症が強い方ほどこの傾向にあります。
- 3、薬を塗った後、鼻水や痰が数時間程度続くことがあります。これは、上咽頭の粘膜が刺激を受けたためにおこるので心配はありません。
- 4、治療をした後の食事や飲み物の制限はありません。